

第2回図書委員会だより

作成（2年図書委員）
稲村、上田、小泓、
酒本、南城、平井
2016年1月

～県立図書館の裏側に迫る!!～

私たち1・2年生の図書委員は、12月25日の午後、鳥取県立図書館を訪問しました。司書の高橋さんからお話をうかがい、その後、館内見学をさせていただきました。

司書の高橋真太郎さんのお話

県立図書館はここがすごい!!

- ★ **110万冊**の本があり、積むとエベレストより高くなる！
- ★ 新聞や雑誌、インターネット、本のリクエスト、場所の利用等のサービスを**ただで**利用できる！
- ★ また、インターネット検索から本やイベント情報を知ったり、**電話やメールで質問**でき、離れた所からでも利用可能。
- ★ さらに、**学校図書館**で予約したら、**二日以内**に県立図書館の本を借りることができます。

※ 図書館を使いこなす最大のポイントは・・・

図書館員に相談すること！！



覚えておいてください！

図書館は

- ・いつも皆さんの味方!
- ・家、学校に次ぐ**第三の居場所**！

★★館内の様子★★

一般公開ゾーン（地階）



図書館 Q&A

- Q、地階にはどういった本がありますか？
A、小説から雑誌までいろいろな本がありますよ！
- Q、高校生におすすめの本は何ですか？
A、ドリームティーンズコーナーという場所があり、10代の方々に読んでもらいたい本が置いてあります。

一度は行ってみたいおすすめのコーナー！！

★日本の漫画が外国語で読める！

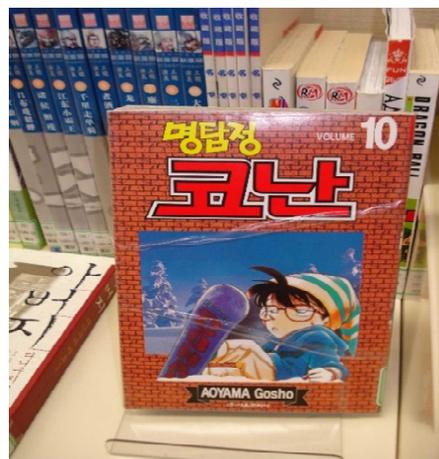
好きな漫画を通じて、外国語と触れよう！

→2F 環日本海交流室

★県立図書館で好きな映画が見られる！→2F カウンターで申込

★アンケートに答えると、内容にあったおすすめの本を探してくれる

ハンゲルの名探偵コナン⇒



水木しげる追悼コーナー！→2F

★鳥取県出身の漫画家水木しげるさんの漫画や経歴をまとめたコーナーです。「妖怪絵巻物」もあるよ！

★「ゲゲゲの鬼太郎」などの有名な作品を知ることができるので、ぜひ訪れて手にとって見てください。

地下書庫見学

↓見学の様子↓



一般の人は入ることの出来ない地下書庫ですが、今回は特別に見学させていただきました。

地下は広く2階分あり、多くの本棚がありました。

本の総冊数は、**地下だけでおよそ90万冊。**

その中には、**寺子屋時代に使われた教科書や、戦時中の教科書**や本など、あらゆるジャンルの本が保管されています。

地下書庫は、本棚から設備まで、一般書庫と違う部分が多くありました。自分達が驚いたことまで載せていきたいと思えます。

★本棚

動く本棚がありました。

ここでは年に**一億円分の本**が、年々増えていきます。そのため普通の本棚ではすぐに場所が埋まってしまいます。そこで、動く本棚です。

側面にはハンドルが付いており、手動でまわすと左右に動きます。人が一人通れるほどの間が開くと、電気が自動でついたことにはびっくりしました。

★保存形式

新聞を画像に撮り、それを**フィルム状**にしていました。こうすることで、**数百年先まで持つ**そうです。

★非常時 (火災)

本の大敵、炎。普通火災が起こったときは、早く消火するために水を用いますよね？

しかし、**水も本の大敵**です。読めなくなるとは死んだも同然。

そこで、ここ地下書庫では、火災をいち早く消火するため、**”ハロンガス”**という**酸素を減らす特殊なガス**を撒くそうです。人間がいたら死にますね。